

和歌山病院での研修を終えて



楠部 万莉

11月の1カ月間国立和歌山病院で地域研修をさせていただきました。

院長先生を含め、呼吸器内科の先生方に色々と教えていただきました。外来診療、入院診療、また講義等もしていただきとても勉強になりました。

外来診療は今までの研修でしたことがなく、最初は戸惑いでしたが、先生方の指導の下勉強させていただくことができ、貴重な研修となりました。入院患者さんですと、高齢の方を診療する機会が多いですが、外来患者さんですと、同年齢の方もいらっしゃって少しいつもと違う雰囲気を感じました。外来で診療する市中肺炎等を経験できました。

また、入院診療では初めて結核の患者さんを診療させていただきました。抗結核薬、抗結核薬の副作用、また結核患者さんのご家族への対応等について勉強させていただきました。結核については国家試験で勉強して以来であり、和歌山病院に来るまでは日常ではそれほど結核を発症している患者さんはいないのではないかと思いついていましたが、毎週入院患者さんが来てそれは間違った認識であったと改めさせられました。

院長先生からレントゲンについて講義していただき、ポリクリの時にも講義していただいているはずなのですが、忘れていたことも多く改めて勉強させていただきました。レントゲンでこんなにいろいろなことが分かるんだなと勉強になりました。

1ヶ月という短い期間でしたが、先生たちは優しく時に厳しく教えていただき、貴重な研修をすることができました。本当にありがとうございました。

和歌山県立医科大学の腎臓内科に入局する予定ですので、また今後ともよろしく願いいたします。